

2021年6月29日

各位

仙台市青葉区一番町二丁目1番1号  
株式会社 仙台銀行

「お客さま本位の業務運営宣言」に基づく  
アクションプラン・KPIの2020年度実施状況  
並びにアクションプランの変更について

株式会社仙台銀行（本店 仙台市 頭取 鈴木 隆）は、じもとグループ共通宣言「お客さま本位の業務運営宣言」に基づき、2017年7月に制定いたしました「お客さま本位の業務運営」の定着に向けたアクションプラン及びKPIについて、2020年度の実施状況を取りまとめましたので、お知らせいたします。

また、当行取扱いの投資信託におけるコスト・リスク・リターン等をお客さまに比較いただけるよう「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」も併せて公表いたします。

なお、2021年度からは、同宣言に基づく当行の取組みをより強化していくため、公表しておりますアクションプランを変更いたしました。

当行は、今後も業務運営の改善に継続的に取り組むとともに、金融商品・サービスの販売、推奨等の業務について、更なるお客さま本位の商品・サービスの提供に努めてまいります。

以上

本件に関する問合せ先  
経営企画部経営企画課 鈴木  
Tel 022-225-8258

## 「お客さま本位の業務運営」に基づくアクションプラン、KPIの 2020年度の取組状況について

株式会社じもとホールディングスの「お客さま本位の業務運営宣言」に基づくアクションプラン、KPIについて、2020年度の対応状況や成果指標（KPI）を公表いたします。

### <アクションプラン>

項目	アクションプラン
<b>1. ガバナンス</b>	<b>○統括管理</b> 「お客さま本位の業務運営」の統括管理は、経営会議で行います。経営会議は、年度ごとに定着に向けた取組状況等を統括管理し、その遵守状況を取締役会へ報告することといたします。
	<b>○統括部署</b> 「お客さま本位の業務運営」の統括部署は、経営企画部経営企画課とします。経営企画部長は年度ごとに施策の取組状況等について、関係各部と連携し、経営会議に報告することといたします。
<b>&gt;2020 年度対応状況</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年7月に策定した「お客さま本位の業務運営宣言」に基づくアクションプラン・KPIについて、2019年度における取組状況を、2020年5月に公表いたしました。</li> <li>・遵守状況、具体的な評価について統括部署にて検証を行い、経営会議で協議の上、取締役会へ報告いたしました。</li> <li>・引き続き、随時アクションプラン等の見直し等を行うとともに、PDCAサイクルを活発化させ、質の高いサービス提供を行います。</li> </ul>	

項目	アクションプラン
<b>2. 企業文化の醸成</b>	<b>○企業文化への定着</b> 当行役職員は、高度の専門性と職業倫理を保持し、当行の経営理念である「信万事本為」（信を万事の本と為す）に基づき、信用を大切にし、お客さまの最善の利益を図るべく行動するよう、基本方針の定着に向けた企業文化の醸成を図ります。
	<b>&gt;2020 年度対応状況</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定着化に向けた取組みの機会として、支店長会議や研修等を活用し、役職員の啓蒙に継続的に取り組んでおります。また、関連資格取得の推奨をしております。                      （2021年3月末現在、1級FP技能士31名、2級FP技能士258名、3級FP技能士612名となっております。※FP：ファイナンシャル・プランナー）</li> </ul>	

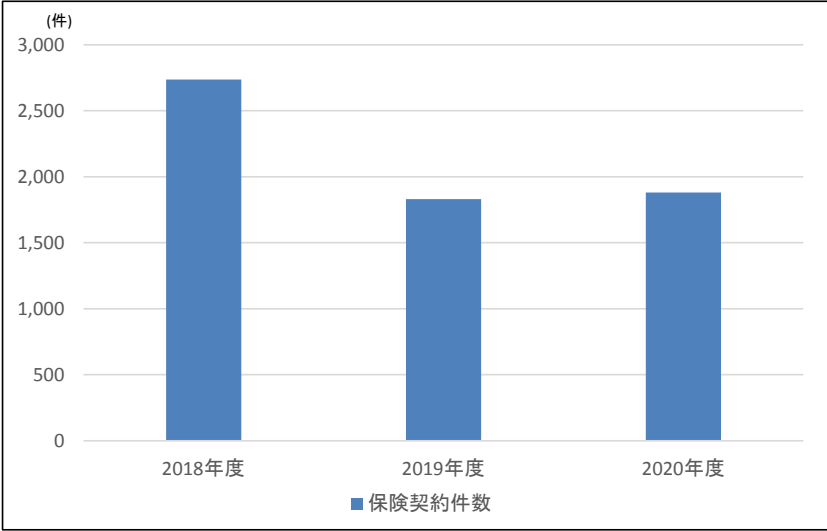
項目	アクションプラン													
<b>3. 最適商品の提案</b>	<b>○コンサルティング機能の実践</b>													
	お客様のライフステージやライフプラン、金融知識・投資経験・取引の目的・資産状況等を十分理解した上で、最適な商品を提案できるよう、スキルの向上を図るとともに、外部機関とのアライアンスを通じたコンサルティング能力の向上を図ります。													
	<b>○お客様のニーズに適した商品ラインアップの拡充</b>													
	お客様の多様な運用ニーズにお応えするために、商品のラインアップを整備し、その充実を図ります。また、各種の積立機能を活用し、長期分散投資の普及を図ってまいります。													
<b>➤2020 年度対応状況</b>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的研修を行い、職員のスキルアップを図るとともに、外部機関講師を招くなど、内容の充実化にも努めております。（2020年度研修実施回数 12 回、うち外部機関講師による研修の実施回数 11 回）※本部実施分のみ集計</li> <li>より幅広いお客様へ金融コンサルティングサービスを提供するため、2020 年 10 月より「仙台銀行 SBI マネープラザ石巻」の営業を開始しました。</li> <li>選択枝の充実と、質の高い商品ラインアップの確保を目的に以下の新商品の取扱いを開始しました。</li> </ul> <p>＜保険商品＞</p> <table border="1" data-bbox="252 1261 1370 1653"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 1261 810 1310">商品名</th> <th data-bbox="810 1261 1370 1310">引受保険会社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 1310 810 1359">ウェルスデザイン</td> <td data-bbox="810 1310 1370 1359">メットライフ生命保険</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1359 810 1408">無解約返戻型災害・重度疾病定期保険</td> <td data-bbox="810 1359 1370 1408" rowspan="4">エヌエヌ生命保険</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1408 810 1458">災害・重度疾病定期保険</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1458 810 1507">低解約返戻金型災害・重度疾病定期保険</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1507 810 1556">介護・障害保証型定期保険</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1556 810 1606">就業不能保障保険</td> <td data-bbox="810 1556 1370 1606">東京海上日動あんしん生命保険</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1606 810 1653">新養老保険 E</td> <td data-bbox="810 1606 1370 1653">明治安田生命保険</td> </tr> </tbody> </table> <p>＜投資信託商品＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当行の積立投資信託を、長期分散投資普及の観点からお客様に積極的にご提案しております。</li> </ul>	商品名	引受保険会社	ウェルスデザイン	メットライフ生命保険	無解約返戻型災害・重度疾病定期保険	エヌエヌ生命保険	災害・重度疾病定期保険	低解約返戻金型災害・重度疾病定期保険	介護・障害保証型定期保険	就業不能保障保険	東京海上日動あんしん生命保険	新養老保険 E	明治安田生命保険	
	商品名	引受保険会社												
ウェルスデザイン	メットライフ生命保険													
無解約返戻型災害・重度疾病定期保険	エヌエヌ生命保険													
災害・重度疾病定期保険														
低解約返戻金型災害・重度疾病定期保険														
介護・障害保証型定期保険														
就業不能保障保険	東京海上日動あんしん生命保険													
新養老保険 E	明治安田生命保険													

項目	アクションプラン
4. 利益相反管理	○利益相反の適切な管理
	別に定める「利益相反管理方針」・「利益相反管理規程」に従い、取引におけるお客さまとの利益相反の可能性について正確に把握し、利益相反の可能性ある場合には、その利益相反を適切に管理してまいります。
<b>&gt;2020 年度対応状況</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>資産運用関連業務における管理対象取引と管理方法を正確に把握するため、マニュアル等の変更・改定がある際は、都度、全営業職員への周知を徹底しております。</li> <li>随時、お客さまの記入帳票等の見直しを行い、お客さまの意向をより正確に確認する仕組みを整備しております。</li> </ul>	

項目	アクションプラン
5. 手数料の明確化	○手数料等の透明性確保
	お客さまに提供する商品・サービス等の名目を問わず、お客さまが負担する手数料やその他の費用等については、重要なお取引の判断材料の一つとして、お客さまに分かりやすく説明し、透明性の確保に努めます。
<b>&gt;2020 年度対応状況</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>手数料やその他費用については重要なお取引の判断材料の一つとして、お客さまへの分かりやすい説明を徹底しております。</li> </ul>	

項目	アクションプラン
6. 業績評価への反映	○実効性のある業績評価への反映
	お客さまの安定的な資産形成と、ライフプランの実現に繋がる取組等を評価体系に組み入れて構築します。
	○職員の目標管理への反映
	職員の人事評価であるチャレンジ目標シートに「顧客本位の業務運営に関する原則（フィデューシャリー・デューティー）」に沿った評価を採用し、職員の業績評価に反映させます。
<b>&gt;2020 年度対応状況</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>2017年度より営業店業績評価制度および、職員の人事評価制度の改定を行い、「顧客本位の業務運営に関する原則（フィデューシャリー・デューティー）」に沿った評価方法を採用いたしました。</li> </ul>	

<KPI>

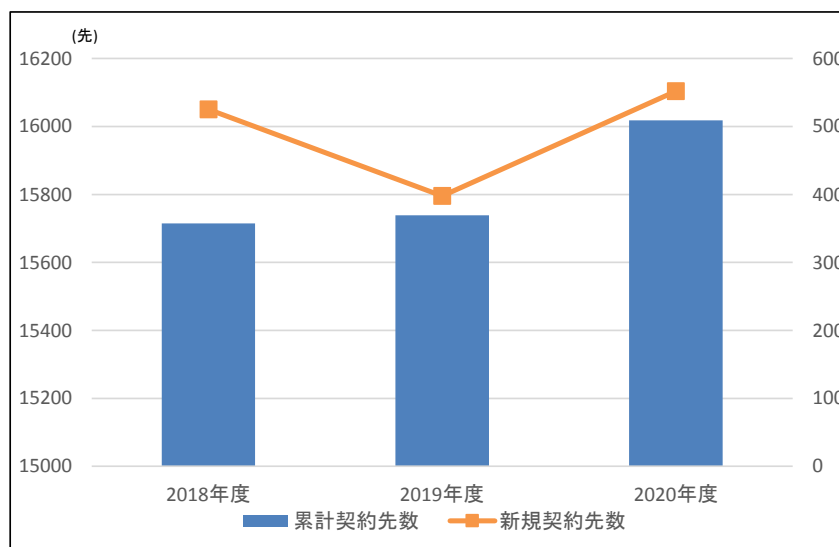
視点	KPI								
1.人材育成	<p>研修内容（保険・投資信託）（2020年度）</p> <p>○お客さま本位の業務運営、コンプライアンスに関する研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：<u>6回</u></li> <li>・参加者数：<u>213名</u></li> </ul> <p>○保険商品、投資信託商品に関する研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：<u>5回</u></li> <li>・参加者数：<u>146名</u></li> </ul> <p>※本部実施分のみ集計            ※映像配信による研修含む            ※実施研修一覧については【KPI資料1】をご参照ください。</p>								
2. お取引状況	<p>契約件数（保険・投資信託）（2021年3月末現在）</p> <p>○保険</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期中保険契約件数（2020年度）：<u>1,880件</u></li> </ul> <p style="text-align: right;">（単位：件）</p> <table border="1" data-bbox="612 1111 1286 1223"> <thead> <tr> <th></th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保険契約件数</td> <td>2,737</td> <td>1,831</td> <td>1,880</td> </tr> </tbody> </table> 		2018年度	2019年度	2020年度	保険契約件数	2,737	1,831	1,880
	2018年度	2019年度	2020年度						
保険契約件数	2,737	1,831	1,880						

## ○投資信託

- 投資信託累計契約先数：16,018先  
(うち2020年度新規契約先数：552先)

(単位：先)

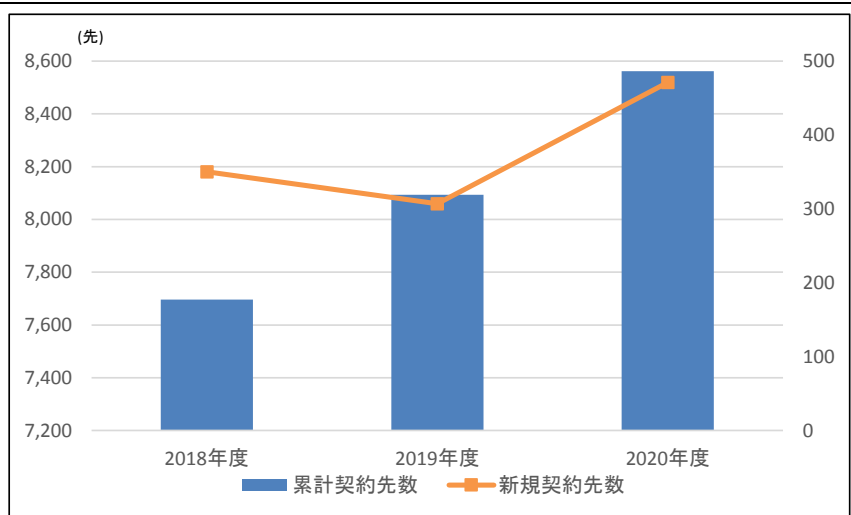
	2018年度	2019年度	2020年度
累計契約先数	15,715	15,739	16,018
うち新規契約先数	525	398	552



- NISA 累計契約先数：8,562先  
(うち2020年度新規契約先数：471先)

(単位：先)

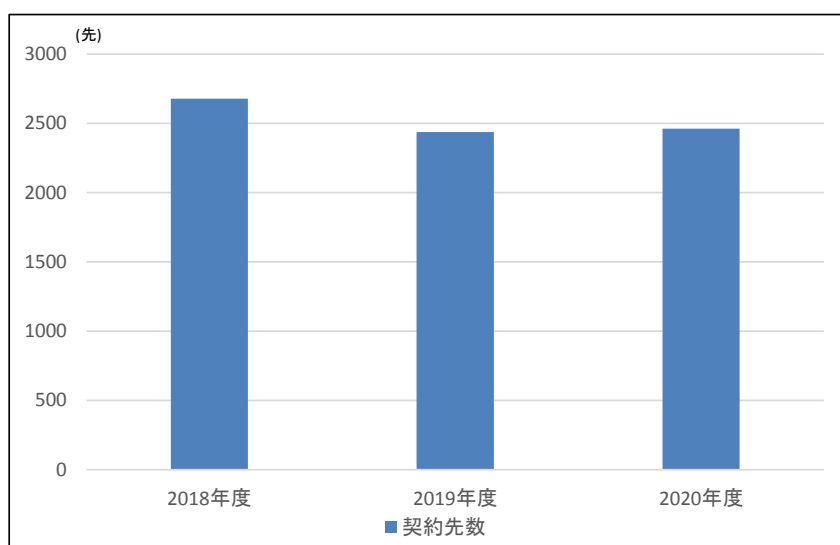
	2018年度	2019年度	2020年度
累計契約先数	7,696	8,093	8,562
うち新規契約先数	350	307	471



・積立投資信託契約先数：2,461先

(単位：先)

	2018年度	2019年度	2020年度
《契約先数》	2,678	2,437	2,461



### 3. パフォーマンス

#### パフォーマンス比較（投資信託）（2021年3月末現在）

##### ○投資信託

・販売商品の累積リターン（利回り）：【KPI資料2】をご参照ください。

以上

## 「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」について

2018年6月に金融庁より公表された、「お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で、比較することのできる統一的な指標（以下、「比較可能な共通 KPI」）」を2019年3月末基準より公表しております。

当行は今後もお客さまに信頼される銀行として「お客さま本位の業務運営」を徹底してまいります。

### <比較可能な共通 KPI>

#### 1. お客さまの運用損益率別の割合

- 当行で投資信託を保有するすべてのお客さまについて、基準日時点の累積の運用損益を算出し、運用損益別の比率を示した指標です。

#### 運用損益率別顧客比率

2019年3月末時点

運用損益率	顧客数 (人)	顧客比率 (%)
-50%未満	88	1.39
-50%以上 -30%未満	54	0.86
-30%以上 -10%未満	460	7.29
-10%以上 0%未満	1,557	24.66
0%以上 +10%未満	2,053	32.52
+10%以上 +30%未満	1,448	22.93
+30%以上 +50%未満	462	7.31
+50%以上	192	3.04
総計	6,314	-

2020年3月末時点

運用損益率	顧客数 (人)	顧客比率 (%)
-50%未満	298	5.05
-50%以上 -30%未満	500	8.47
-30%以上 -10%未満	2,247	38.08
-10%以上 0%未満	1,309	22.18
0%以上 +10%未満	564	9.56
+10%以上 +30%未満	677	11.47
+30%以上 +50%未満	181	3.07
+50%以上	125	2.12
総計	5,901	-

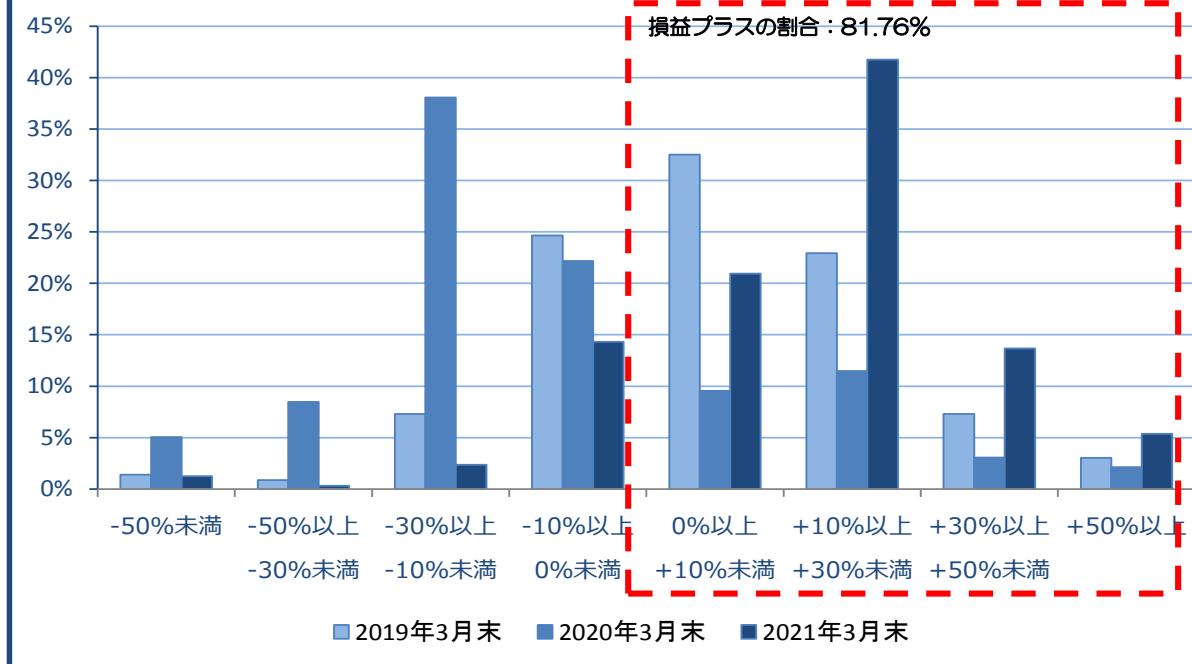
2021年3月末時点

運用損益率	顧客数 (人)	顧客比率 (%)
-50%未満	72	1.26
-50%以上 -30%未満	18	0.31
-30%以上 -10%未満	134	2.35
-10%以上 0%未満	818	14.32
0%以上 +10%未満	1,197	20.96
+10%以上 +30%未満	2,385	41.76
+30%以上 +50%未満	780	13.66
+50%以上	307	5.38
総計	5,711	-

- ・2020年3月末でプラスリターン（運用損益がプラスとなっている）のお客さまの割合は全体の26.2%、2021年3月末でプラスリターンのお客さまは全体の81.76%となり、55.56ポイント良化いたしました。
- ・相場環境の好転によりファンドの基準価額が上昇したほか、お客さまへの運用リバランス提案の実施により、お客さまの運用損益改善につながりました。



## 運用損益率別顧客比率(%)



※運用損益率は(評価金額+累計受取分配金+累計売付金額-累計買付金額)÷評価金額で算出しております。基準日時時点で投資信託※を保有している顧客を対象とします。

※DC専用投信、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除きます。

## 2. 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

●当行で取扱う投資信託の残高上位 20 銘柄について、銘柄毎及び預り残高加重平均のコストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。

### 投資信託預り残高上位20銘柄の一覧(2021年3月末時点)

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	グレイ・US-REIT・オープン(毎月決算型)為替ヘッジなし 分配金受取コース	2.22	16.06	5.50
2	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型) 分配金受取コース	1.25	3.45	0.58
3	アジア・セクター好配当成長株オープン(毎月分配型) 分配金受取コース	1.82	17.65	8.03
4	インデックスファンド225 分配金再投資コース	1.01	16.58	13.25
5	トヨタグループ株式ファンド 分配金再投資コース	1.09	22.00	9.24
6	MHAM豪ドル債券ファンド(毎月決算型) 分配金受取コース	1.82	8.76	2.00
7	MHAM J-REITインテックスファンド(毎月決算型)(愛称:ビルオーナー)	1.16	13.98	4.60
8	コセイヤカ高配当株ファンド(毎月決算型) 分配金受取コース	1.94	17.01	6.75
9	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型) 分配金受取コース	1.71	4.86	0.97
10	HSBCインドオープン 分配金再投資コース	2.86	24.77	9.12
11	三井住友・グローバル・リート・オープン(愛称:世界の大家さん)	2.19	19.44	1.11
12	MHAMリニティオープン(毎月決算型)	1.65	7.04	3.79
13	新光ピュア・インド株式ファンド 分配金受取コース	2.81	21.23	8.80
14	MHAM新興成長株オープン 受取コース	2.53	21.99	20.32
15	ホリワタ・テクノロジー-関連株年1回決算 受取コース	2.48	19.34	20.22
16	次世代米国代表株ファンド 分配金受取コース	2.26	17.14	13.65
17	みずほUSハイテックオープンBコース(為替ヘッジなし) 分配金受取コース	2.20	11.21	6.62
18	投資のソムリエ 分配金受取コース	2.20	2.52	2.82
19	フィデリティ・日本小型株・ファンド 分配金再投資コース	2.45	16.85	10.47
20	野村インテックス債券ファンド(毎月分配型) 受取コース	2.24	10.32	4.86

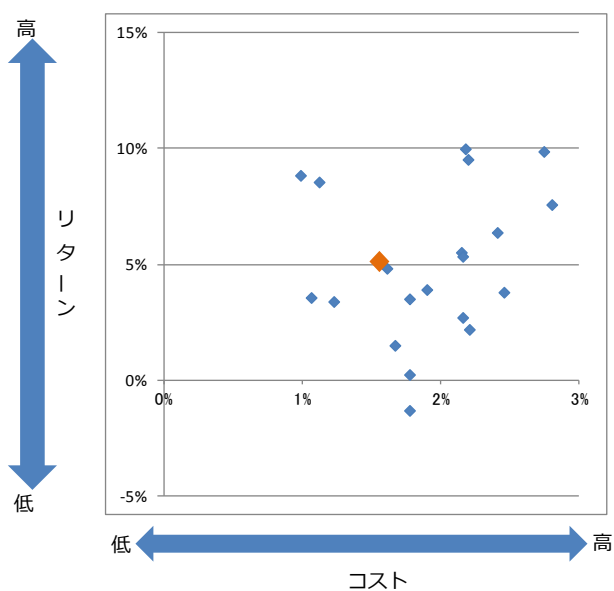
※コスト…販売手数料率(取扱い時の最低販売金額での料率)×1/5+信託報酬率(実質的な信託報酬率の上限)

リスク…過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

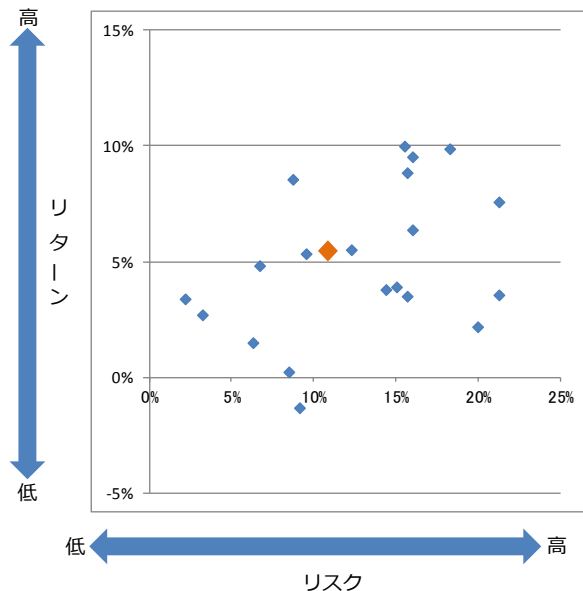
リターン…過去5年間のトータルリターン(年率換算)

- ・当行を通じて保有いただいている投資信託の残高上位20銘柄について、2021年3月末におけるコストに対するリターンは、20銘柄中17銘柄においてリターンがコストを上回っています（前年比+16銘柄）。増加の要因としては、相場環境の好転によりファンドの基準価額が上昇したことによるものです。

【2019年3月】

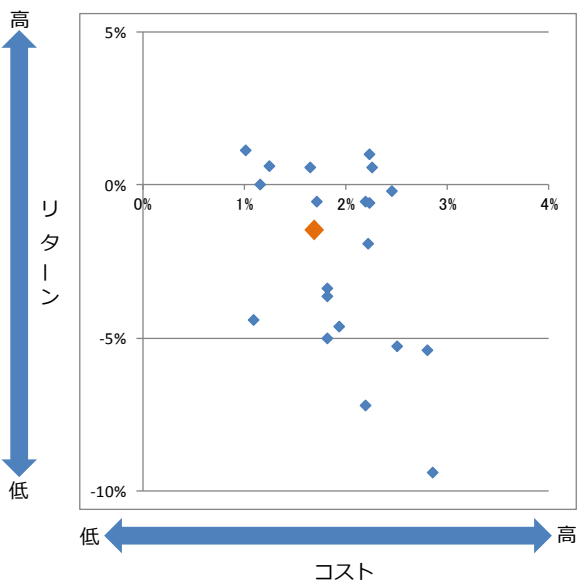


◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	1.71	5.38

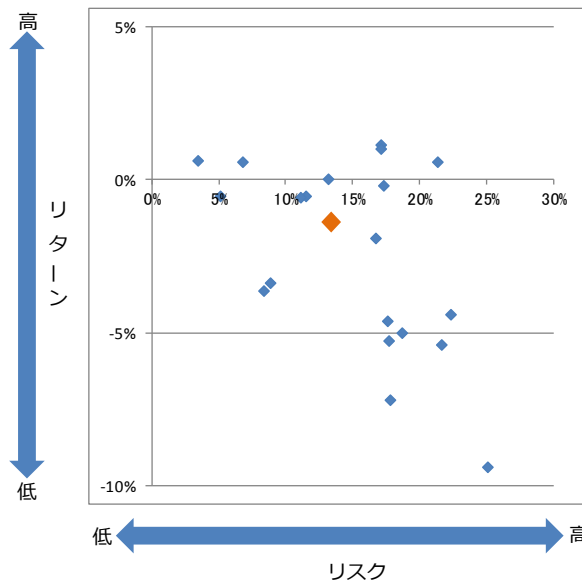


◆ 残高加重平均値	リスク	リターン
	12.18	5.38

【2020年3月】

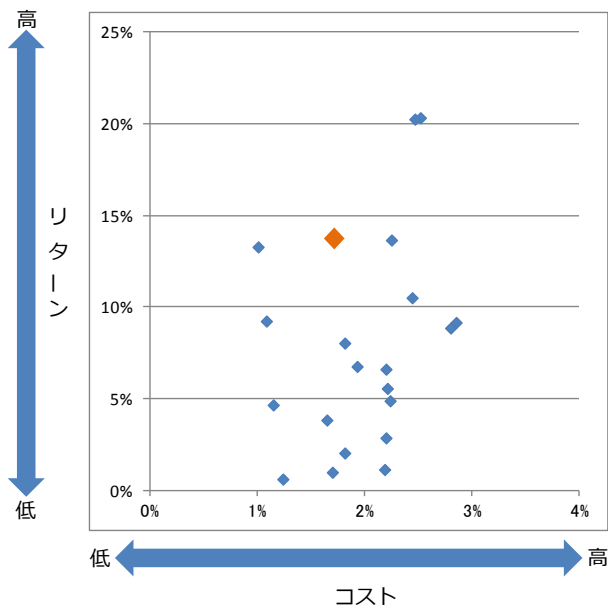


◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	1.74	-1.75

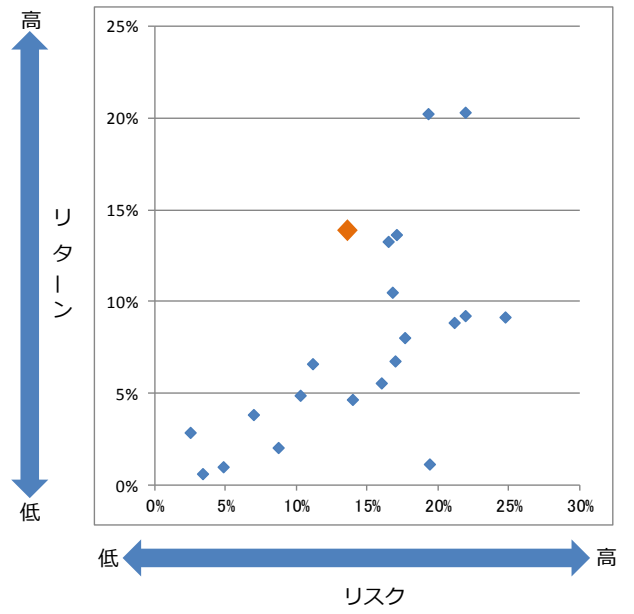


◆ 残高加重平均値	リスク	リターン
	13.81	-1.75

【2021年3月】



◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	1.83	6.19



◆ 残高加重平均値	リスク	リターン
	14.09	6.19

以 上

## 2020年度に実施した研修一覧

日 程	研修名
2020年7月3日 2020年10月15日	FA全体会議
2020年11月10日 2020年11月12日	NEXTリーダー（ベテラン）研修 第1回
2020年11月11日	セールススキルアップ研修会（若手） 第1回
2020年12月3日	リーダー研修
2020年12月9日	NEXTリーダー（ベテラン）研修 第2回
2020年12月16日	セールススキルアップ研修会（若手） 第2回
2020年12月17日 2020年12月18日	FA窓口担当者向け研修会 第1回
2021年2月9日	FA窓口担当者向け研修会 第2回
2021年3月5日～19日	内部管理責任者研修

※本部実施分のみ集計

## 販売商品の累積リターン（利回り）

（単位：％）

ファンド分類	ファンド名	運用会社	累積リターン（2020年3月末）				
			1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年
バランス型	投資のソムリエ	AM-One	0.73	0.77	3.54	11.78	14.92
バランス型	クルーズコントロール	AM-One	1.40	4.12	6.65	3.82	8.74
バランス型	One 国際分散投資戦略ファンド （目標リスク 8%） ＜愛称：THE GRIPS 8%＞	AM-One	2.24	-5.96	-2.39	-	-
バランス型	東京海上・円資産バランスファンド （毎月決算型）＜愛称：円奏会＞	東京海上	1.90	2.84	3.00	0.45	2.95
内外債券型	グローバル・ソブリン・オープン （毎月決算型）	三菱UFJ国際	2.07	0.97	3.17	8.85	4.93
内外債券型	グローバル・ソブリン・オープン （資産成長型）＜愛称：グロソブN＞	三菱UFJ国際	2.08	1.03	3.27	9.05	5.19
内外株式型	ロボット・テクノロジー関連株ファンド （年1回決算型 為替ヘッジあり） ＜愛称：ロボテック（年1回）（為替ヘッジあり）＞	大和	-2.06	17.70	67.85	57.15	-
内外株式型	ロボット・テクノロジー関連株ファンド （年1回決算型） ＜愛称：ロボテック（年1回）＞	大和	0.91	23.06	75.46	68.84	151.12
内外株式型	ニッセイ AI 関連株式ファンド （為替ヘッジあり）＜愛称：AI革命 （為替ヘッジあり）＞	ニッセイ	-5.08	11.20	65.74	66.76	-

## 販売商品の累積リターン（利回り）

（単位：％）

ファンド分類	ファンド名	運用会社	累積リターン（2020年3月末）				
			1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年
内外株式型	ニッセイ AI 関連株式ファンド （為替ヘッジなし） ＜愛称：A I 革命（為替ヘッジなし）＞	ニッセイ	-1.33	16.72	71.46	84.55	-
内外株式型	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド ＜愛称：THE 5G＞	三井住友 トラスト	-3.83	24.71	65.65	77.80	-
内外株式型	SBI 地方創生・世界高配当株式ファンド （為替ヘッジあり）【資産成長コース】	SBI 地方創生 アセット	5.61	15.71	33.93	-	-
内外株式型	SBI 地方創生・世界高配当株式ファンド （為替ヘッジあり）【年3%定率払出しコース】	SBI 地方創生 アセット	5.49	14.76	31.58	-	-
内外株式型	SBI 地方創生・世界高配当株式ファンド （為替ヘッジあり）【年5%定率払出しコース】	SBI 地方創生 アセット	5.54	15.66	33.82	-	-
内外株式型	SBI 地方創生・世界高配当株式ファンド （為替ヘッジあり）【年7%定率払出しコース】	SBI 地方創生 アセット	5.55	15.68	33.71	-	-
内外株式型	ワールドビューティーオープン （為替ヘッジあり）	三菱UFJ国際	3.83	13.62	36.41	25.41	-
内外株式型	ワールドビューティーオープン （為替ヘッジなし）	三菱UFJ国際	6.24	18.60	42.33	30.70	-
国内株式型	ダイワJPX日経400ファンド	大和	5.28	21.46	42.06	22.05	56.87
国内株式型	インデックスファンド225	日興	1.26	26.51	55.80	41.84	86.33

## 販売商品の累積リターン（利回り）

（単位：％）

ファンド分類	ファンド名	運用会社	累積リターン（2020年3月末）				
			1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年
国内株式型	ニッセイJPX日経400アクティブファンド	ニッセイ	1.82	15.46	47.86	19.34	61.15
国内株式型	日興ジャパンオープン ＜愛称：ジパング＞	日興	5.80	20.85	52.04	28.25	78.82
国内株式型	フィデリティ・日本小型株・ファンド	フィデリティ	4.40	16.29	48.58	14.83	64.50
国内株式型	トヨタグループ株式ファンド	三井住友DS	7.93	21.10	35.84	19.62	31.23
国内株式型	MHAM 新興成長株オープン ＜愛称：J-フロンティア＞	AM-One	5.87	10.30	81.70	33.55	152.13
国内株式型	東京海上・ジャパン・オーナーズ株式 オープン	東京海上	4.96	14.37	59.49	61.30	226.69
内外REIT型	三井住友・グローバル・リート・オープン （1年決算型）＜愛称：世界の大家さん （1年決算型）＞	三井住友DS	5.51	30.99	44.93	12.57	5.38
内外REIT型	三井住友・グローバル・リート・オープン ＜愛称：世界の大家さん＞	三井住友DS	5.46	30.61	44.59	12.98	5.66
国内REIT型	MHAM J-REITインデックス ファンド（毎月決算型）＜愛称：ビルオ wner＞	AM-One	4.39	18.38	30.49	31.89	25.24
国内REIT型	MHAM J-REITインデックス ファンド（年1回決算型）＜愛称：ビル owner（年1回決算型）＞	AM-One	4.41	18.43	30.50	32.19	25.62

## 【KPI資料2】

## 販売商品の累積リターン（利回り）

（単位：％）

ファンド分類	ファンド名	運用会社	累積リターン（2020年3月末）				
			1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年
海外債券型	みずほUSハイイールドオープン （年1回決算型）【為替ヘッジなし】	AM-One	3.37	11.96	28.68	22.86	37.36
海外債券型	MHAM豪ドル債券ファンド （毎月決算型）	AM-One	0.98	6.91	24.18	12.05	10.40
海外債券型	みずほUSハイイールドオープン 【Bコース（為替ヘッジなし）】	AM-One	3.39	12.05	29.10	23.28	37.81
海外債券型	みずほUSハイイールドオープン 【Aコース（為替ヘッジあり）】	AM-One	-0.75	6.77	25.72	11.63	27.99
海外債券型	HSBCブラジル債券オープン （毎月決算型）	HSBC	-2.50	-0.90	-8.40	-28.30	-0.30
海外債券型	ダイワ高格付カナダドル債オープン （毎月分配型）	大和	4.15	8.04	14.50	12.52	4.27
海外債券型	ダイワ高格付カナダドル債オープン （年1回決算型）	大和	4.15	8.03	14.48	12.47	4.34
海外債券型	野村インド債券ファンド （毎月決算型）	野村	3.40	9.59	21.82	15.64	26.77
海外債券型	野村インド債券ファンド （年2回決算型）	野村	3.43	9.59	21.61	15.69	-
海外株式型	新光ピュア・インド株式ファンド	AM-One	1.15	40.74	77.15	23.38	49.93



## 販売商品の累積リターン（利回り）

（単位：％）

ファンド分類	ファンド名	運用会社	累積リターン（2020年3月末）				
			1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年
海外株式型	HSBCブラジルオープン	HSBC	0.60	20.50	30.30	-27.90	11.60
海外株式型	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	岡三	-0.49	32.94	56.33	20.96	47.14
海外株式型	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）	岡三	-0.47	33.19	57.00	21.68	48.19
海外株式型	ニッセイアメリカ高配当株ファンド（毎月決算型）＜愛称：USドリーム（毎月）＞	ニッセイ	7.17	20.04	41.55	35.43	38.64
海外株式型	ニッセイアメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）＜愛称：USドリーム（年2回）＞	ニッセイ	7.20	20.09	41.47	34.74	37.89
海外株式型	次世代米国代表株ファンド＜愛称：メジャー・リーダー＞	三菱UFJ国際	7.25	26.81	58.66	48.12	89.58
海外REIT型	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）【Aコース（為替ヘッジあり）】	大和	3.68	20.77	35.79	31.02	22.99
海外REIT型	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）【Bコース（為替ヘッジなし）】	大和	7.90	26.28	38.15	41.61	30.67
海外REIT型	ダイワ・US-REIT・オープン（年1回決算型）【為替ヘッジなし】	大和	7.91	26.48	38.26	41.80	31.07

※基準日：2021年3月末

※取扱中止商品（ファンド）を除く

# 「お客さま本位の業務運営」の定着に向けたアクションプラン

株式会社仙台銀行

株式会社じもとホールディングスの「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）基本方針」（以下、「本方針」といいます。）に基づき、仙台銀行は、「お客さま本位の業務運営」実践のため以下のアクションプランを実施します。

## 1. お客さまの最善の利益の追求

当行は、高度の専門性と職業倫理を保持し、お客さまに対して誠実・公正に業務を行い、お客さま本位の業務運営が企業文化として定着するよう努めます。

また、お客さま本位の良質なサービスを提供し、お客さまの最善の利益を追求するため、以下の施策に取り組めます。

- お客さまのニーズにお応えするための多様な商品ラインナップの整備に努めます。
- 本方針の定着のため、支店長会議や研修等を活用し、役職員の啓蒙に継続的に取り組んでおります。
- お客さまへの良質なサービス提供のため、関連資格取得を推奨しております。

## 2. 利益相反の適切な管理

当行は、お客さまの利益を不当に害するおそれのある取引について正確に把握し、お客さまの利益が不当に害されることのないよう「利益相反管理方針」を定め、これに基づき適切な管理に努めます。また、利益相反の可能性を判断するに当たっては、例えば当行運用部門が、資産の運用先に当行法人営業部門が取引関係等を有する企業を選ぶなどといった場合の影響についても考慮いたします。

## 3. 手数料等の明確化

お客さまに提供する商品・サービス等の名目を問わず、お客さまが負担する手数料やその他の費用等については、重要なお取引の判断材料の一つとして、お客さまにわかりやすく説明し、透明性の確保に努めます。

## 4. 重要な情報の分かりやすい提供

当行は、金融商品・サービス（以下、「金融商品等」といいます。）のご提案に当たって重要な情報をお客さまに十分にご理解いただけるよう、分かりやすく丁寧に説明するとともに、以下の施策を通じて適切かつ十分な情報提供に努めます。

- 金融商品等の提案に当たっては、基本的な商品の仕組み、リスク及びリターン、取引条件その他お客さまの投資判断に重要な影響を及ぼす情報の提供に努めます。

- お客さまの金融商品の知識、投資経験、財産の状況及びお取引の目的等の情報を適切に把握し、お客さまのニーズ・ご意向を踏まえた最適な金融商品の情報提供に努めます。
- お客さまの金融知識や投資経験等を踏まえ、明確で分かりやすく誤解を招くことのない誠実な内容の情報提供に努めます。
- お客さまの投資判断に重要な影響を及ぼす情報については、お客さまに特に注意していただけるよう丁寧な説明に努めます。

## **5. お客さまにふさわしいサービスの提供**

当行は、お客さまの財産の状況、金融商品取引の経験、知識及びお取引の目的・ご意向等の情報を適切に把握し、以下の施策を通じてお客さまにふさわしい金融商品等の提供に努めます。

- お客さまのご意向・ニーズを適切に把握したうえでお客さまのライフプランを踏まえた資産形成について検討し、これに基づいた金融商品等の提案に努めます。
- 金融商品等の提案を行う際には、類似商品・サービスや代替商品・サービスの内容と比較することで、お客さまにとって最適な運用方法をご判断いただけるような説明に努めます。
- 金融商品等をご購入いただいた後も運用状況や市場動向などの情報をお客さまに提供するなど、適切なアフターフォローの実施に努めます。
- お客さまにとって投資対象としてふさわしい金融商品等であるかについて、当該商品におけるリスク・リターンや手数料等の基本的な仕組み、特性について十分に事前審査を行ったうえで提案を行います。
- お客さまへ最適なお提案をするために必要な知識・スキル習得のため、職員向けに充実した教育・研修を実施します。

## **6. 職員に対する適切な動機づけの枠組み等**

当行は、本方針への取組みを促進するように設計された報酬・業績評価体系、職員への研修その他の適切な動機づけの枠組みや適切なガバナンス体制の整備に努めます。

※当行では、以下の金融商品等については販売・推奨等を行っておりません。

- 複数の金融商品・サービスをパッケージとした商品
- 複雑又はリスクの高い商品
- 当行が組成に携わる金融商品

以 上